結 ゆいっこ 盛岡新聞
ぼくらの復興支援 IWATE YUICCO
vol.15 発行日／2012.10.7
編集・発行／いわてゆいっこ盛岡
〒020-0866
岩手県盛岡市本宮 5-10-20-120 号棟
Tel：090-4476-7083
Mail…… morioka@yuicco.com
Blog …… http://yuicco.com
Twitter …… iwate_yuicco

活動報告

もりキャン autumn green camp 2012 ～いわて×ふくしま～ …9/15(土) ～9/17(月祝)盛岡市・盛岡市近郊

今回、9月15日（土）～17日（祝）に行われた『もりキャン autumn green camp 2012～いわて×ふくしま～』は、東日本大震災により屋外での活動を制限されている福島県の子どもたちに岩手の自然を楽しんでもらいたい、そして、福島県と岩手県盛岡市・宮古市近郊の子どもたちが互いに触れうことで、交流を続けて欲しいという願いから、盛岡市からの委託という形でいわてゆいっこ盛岡が企画・運営をさせていただきました。

福島県・岩手県盛岡市・宮古市近郊の子どもたち合計113名を3コースに分け、盛岡広域8市町村の協力の下、コースごとに様々な活動やキャンプを行いました。

また、参加して下さったボランティアの方は岩手県や埼玉県、東京都、そしてはるばる福岡県からいらした方などを含め合計51名でした。

【Aコース】
一日目：初駒→小岩井農場→つどいの森泊
二日目：つどいの森屋外遊び→紫波フルーツパーク→子ども科学館→ユートランド姫神泊
三日目：馬っこパーク

9月15日、待ちに待ったもりキャン当日。子どもたちがバスに揺られている中、ゆいっこ事務所でのボランティアスタッフ打ち合わせからその日は本格的にスタートしました。

一日目はまず初駒で昼食。そこで名前シールに自分の名前を書いてもらい、昼食後は各コースのバスに分かれて、いよいよ出発です。バスは班ごとの席だったため、知らない子が隣でまだ皆は緊張している様子でした。そして歓迎セレモニーが行われる小岩井農場に到着。アイスを食べたり、アトラクションで遊んだりと各班で楽しみました。その後Aコースは一日目の宿泊場所である、キャンプ場つどいの森へ。つどいの森へ着くまでのバス内では、震災後、福島などでイベントをしているアート集団「OTASUKE BOYZ（オタスケボーイズ）」の皆さんによるアイスブレイクが行われました。到着後はすぐにカレー作りへ突入。うまく時間の配分ができず、ドタバタの野外炊飯でしたが、なんとか完成して皆で夕食。少しずつそれぞれの班の雰囲気が出来てきて会話も弾んでいました。夕食後はお風呂に入り、キャンプファイヤーをしました。ここでもOTASUKE BOYZの進行のもと、クイズや体を動かすゲームなどで、沢山の笑いに包まれ、一日目が無事に終了しました。

▲一日目の昼食を「初駒」で。初対面ばかりの食事に、皆緊張の面持ち。仲良くなれるかな～。

▲昼食後、歓迎セレモニーを「小岩井農場」で行いました。盛岡広域市町村長懇談会の方々や「ゆるキャラ」にもご参加いただきました!

二日目は皆で揃って朝食を食べた後、つどいの森内のアスレチックや広場で遊びました。朝から子どもたちのパワーはすごかったです。女の子は大縄跳びやバレーをし、男の子は芝生を転がり、大人たちはついていくのに必死でした。まだ遊び足りないという雰囲気も漂う中、つどいの森を出発し南部家敷で昼食。だんだん話も弾んできた様子。昼食後のバスの中では昼間から怖い話をOTASUKE BOYZが披露しました。「次は、次は？どうなるの？」と皆興味津々。そうこうしているうちに紫波フルーツパークへ到着し、ぶどう狩り開始！沢山の種類があり、あれもこれもと食べているうちにお腹はいっぱい。とても美味しくて、持って帰りたいとの声もありました。ぶどう狩りの後は子ども科学館へ。ここでOTASUKE BOYZの皆さんとはお別れになってしまい、皆寂しそうにしていました。子ども科学館では、展示室で遊んだ後プラネタリウムを観賞。今日の星空に子どもたちが目を輝かせる中、大人たちは夢の中へ。宿泊先のユートランド姫神ではお風呂と夕食の後に花火をしました。手持ち花火で絵を描いたり、線香花火をみんなでしたりととても楽しく、最後の噴出花火にはあまりの綺麗さに感動しました。

◀「つどいの森」で芝生を転がる男子たち。心だけ子どもに返っても、大人たちはついていくのが大変です。

▼「紫波フルーツパーク」でぶどう狩り。穫ったどー!

最終日は朝に班の皆で自分の住所を書いたハガキを交換！

▲最終目的地「馬っこパーク」。乗馬体験もしました。生まれて初めて馬に乗った子もいたはず…

皆からハガキが届くかワクワクです。どの班も楽しそうに話しをしながら書いていました。ユートランド姫神を出発後は馬っこパークへ。1人ずつ馬に乗ったり、馬やヤギに餌をあげたり、広場で遊んだりと最終日でも子どもたちのパワーは健全でした。

始まったときはどうなることかと思いましたが、瞬く間にすぎていった三日間。子どもたちの笑顔と「楽しかった」の声を聞くことができて本当に良かったです。来年もまた、たくさんの笑顔に出会えることを楽しみにしています！ ＜報告／立花有彩＞

【Bコース】

一日目：初駒→小岩井農場→安比ヴィラ泊

二日目：ゴンドラ→石神の丘美術館→テンパーク泊

三日目：テンパークでボランティアと屋外遊び

「バスガイドさんに始まり、バスガイドさんに終わる」これは、「AKB に始まり、AKB に終わった B コース」閉会式でのリーダーのコメントになぞらえた、僕の感想です。

僕のもりキャンは一足早く、福島駅発バスの引率から始まりました。正直なところ、引率を請け負った僕達も、「何をやるのか」「どの程度バス会社で対応してもらえるのか」も分からないままの行き当たりばったりで始まりましたが、ここで担当して頂いたバスガイドさんの手際が良く、出発時間 30 分前に合流したにも関わらず、コース毎の荷物の仕分けや名簿・座席のチェックが始まっていて、ドタバタする事なく予定通りに出発でき、道中もバスガイドさんの話が弾んでいました。そして、このバス移動とともに、「AKB に始まり、AKB に終わったBコース」の開始！ AKB で盛り上がっているうちに、宿泊先に到着。部屋もご飯も豪華なホテルでびっくりしました。

◀「安比ヴィラ」の夕食バイキング。豪華なメニューに驚きました。

夕飯を終えてから、打ち上げ花火の鑑賞、星空観察へ。星空観察では、指導員さんに北極星の見つけ方や天の川を教えてもらい、子どもたちによる即興劇も行われました。即興劇をやった子達お疲れさま！

二日目最初のイベントは、安比高原散策。ゴンドラに乗って山頂まで行き、山頂からの景色を眺めたり、スタッフも交じってのレクレーション。午後は、石神の丘美術館でスタンプラリー。走り回ってスタンプを見つけてくる男の子たちに連れられて回っているうちに、うちの班が一番になっていました。

二日目の宿泊はテンパーク岩手山青少年の家。野外キャンプを行いました。どの班もテント張りや火起こしもてきぱきと行なったおかげで、順調に夕飯を頂くことが出来ました。キャンプの夜のイベントと言えば、キャンプファイヤー。支援員さんの進行の元、いろいろなゲームを行ったり、マイムマイムを踊ったりしました。その後花火を行い、そして男子スタッフの本日二度目の AKB 劇場！懐中電灯の明かりがないと真っ暗な中、「みんなの光をこっちに向けて～」の一声に始まり、エブリデイカチューシャを大熱唱！バス車内とは違い、広さを生かして動き回りながら踊り、より一掃大きな「きも～い」が。

最終日。宿泊したテンパーク岩手山青少年の家のグラウンドで、男子はドッジボール、女子は縄跳び組とドッジボール組に分かれて遊びました。そして B コースとして最後のバス移動。わずかな移動時間でしたが、AKB の大熱唱。某スタッフだけでなく、相変わらずバスガイドさんもノリノリ。目的地に着いているにも関わらず、バスガイドさんまで歌っている為、曲の終わりまで下車することなく歌い（踊り）きってしまいました。コース毎の記念撮影・全体での閉会式を終えると、子ども達は各方面に分かれて帰路へ。

終わってみれば、子どもたちの明るい声と笑顔に溢れた、あっという間の三日間でした。「また次回会おうねっ」と言ってくれた子ども達、次回も参加するからね！ ＜報告／馬場雄介＞

▲二日目朝、「安比高原」のゴンドラに乗って山頂まで。気持ちいい～！ それぞれが下界に向かって雄叫びを上げていました（笑）

▶「テンパーク岩手山青少年の家」にて野外キャンプ。夕食の準備も自分たちでしました。ボランティアのお兄さんよりずっと上手かもしれません。

【Cコース】

一日目：初駒→小岩井農場→葛巻交流館プラト一泊

二日目：チーズ作り体験→トラウトガーデン→
　　八幡平市県民の森泊

三日目：ボランティアと屋外遊び

2012年9月15日（土）、いよいよもりキャン当日の朝になりました。事務所では、今回参加するボランティアの皆さんとの顔合わせと、キャンプの流れを確認し、子どもたちが待つ初駒へ。初駒では、お昼ごはんを食べましたが、子どもたちは初めて会う友達に緊張しているのか静かでした。次に、歓迎セレモニーが行われる小岩井農場へ。セレモニー終了後は、各コースの各班に分かれて小岩井農場内で遊びました。僕の班は乗馬体験することに。場内では、ソフトクリームを食べました。小岩井農場の後は初日の宿泊先の葛巻高原へ。ここで初めてCコースの子どもが乗るバスで一緒に移動。バスの中では子どもたちのパワフルさワンパクさを実感しました。葛巻高原での夜ごはんは焼き肉。高原の牛乳やお肉を堪能し始めてすぐに、子どもたちは食べ終わったようでした。コテージに入ると今日の寝床の陣地取りが開始。スタッフミーティング後、コテージに戻るとほとんどの子どもが寝ていました。やっと、キャンプ初日が終了。子どもたちからもだいぶ話しかけてもらえるようになりました。次の日もこどもたちと遊べることが楽しみになりました。　＜報告／森谷滉大＞

二日目は朝食後、葛巻高原牧場の動物たちとふれあい、場内でのチーズ作り体験。葛巻産の牛乳を温め、酸を入れて絞ると塊が出来ます。それに塩を加え美味しいチーズの出来上がり！クラッカーに乗せてみんなで美味しく頂きました。チーズ作り体験後は、八幡平トラウトガーデンに移動して魚釣り体験。魚釣りどころか、魚を触った事の無い子どもたちもいましたが、夕飯に釣った魚を食べるのでみんな真剣に釣っていました。その後、県民の森に移動して、職員さんの指導の元みんなでテント設営。特に男子はすぐ要領を覚えて他のみんなの設営を手伝ってくれました。野外炊飯ではみんなで手分けしてお昼に釣った魚を焼いたり、豚汁を調理したりました。自分たちで作った料理を外でみんなで食べるのは、とても美味しくお腹いっぱい食べました。お風呂の後はみんな、花火で盛り上り、スタッフの怖い怪談話を聞いたりして就寝。みんなぐっすり眠れたようです。　＜報告／浅井聡之＞

▲二日目朝「葛巻高原牧場」でのチーズ作り体験。「チーズってこうやって出来るんだ～」

◀▼「八幡平トラウトガーデン」で魚釣り。自分で釣った魚を自分でさばいて焼いて食べました。

ついに、キャンプ最終日！この日の最初の一仕事は、テントの片付け。私の担当した班の子達は、まずじっとしていない！ボール遊びやチャンバラごっこに夢中で、誰も手伝ってくれないと思っていたら、他の人が手伝ってくれて、ようやくテント片付け終了。朝食は、サンドイッチとバナナを食べました。その後は、皆でキャンプ場のお掃除。そして、広場で今日のメインのネイチャーゲーム！いくつかのミッションをクリアして貰いました。最初は面倒臭そうにしていた子ども達も、ゲームが始まると楽しそうに遊んでいました。ゲーム後はバスに乗り、全コースの合流場所の馬っこパークへ。いよいよお別れの時。最後は、子ども達全員がスタッフのアーチをくぐり抜けていきました。今回のこのキャンプが、子ども達にとって思い出深い経験になってくれた事を祈ります。また、このキャンプを通してできた新しいつながりが、今後も何かしらの形で繋がってくれたら嬉しいです。　＜報告／江原瑛子＞

▲「県民の森」でネイチャーゲーム。最終日の疲れが出てしまった子もいましたが、ゲームが始まってしまえば楽しそうでした。

▲「元気でねー!」。スタッフたちのアーチでお見送りしました。たくさんの笑顔と「楽しかったよ」のコトバをもらいました。こちらこそ、ありがとう!

草取り…9/22(土) 盛岡市本宮　しぇあハート村

▲「しぇあハート村」の皆さんとボランティアさんで集合写真。一輪車を持った方が中里さんです。

毎月第三土曜日恒例の、盛岡市本宮にある「しぇあハート村」の草取りを行いました。いつもお世話になっているしぇあハート村の皆さんとボランティアの皆さんで集合写真を撮り、今回も元気にスタート！

少し肌寒くなってきたこの季節。先月や先々月に比べて草は少ないものの、そのおかげで今まであまり手を付けていなかった場所の草取りも行うことができました。今回もしぇあハート村とボランティアの皆さんにゆいっこ事務所の草取りを手伝っていただいて、感謝の思いでいっぱいです。また、定期的にしぇあハート村の「花 de つなぎ隊」中里さんはゆいっこ事務所を含めたしぇあハート村区画内の草取りをしてくださっています。本当にありがとうございます。

草取りの後はしぇあハート村管理棟で「今後のしぇあハート村活用方法」についてお茶を飲みながらの意見交換会がありました。その中で出た案では

●子どもと高齢者が交流できる場所にしたい。
●託児所として提供するのはどうか。
●誰でも利用することができるフリーな空間に。

など、「すべての人が利用できる」ということに焦点が置かれた話し合いとなりました。中には「昼寝スペースを予約制で提供するのはどうか」などユニークな意見もあり、様々な立場の人がこのような場で話し合う大切さを実感しました。この意見交換会は定期的に開かれるそうなので、また参加したいと思います。

来月からは草取りの代わりに他のイベントを企画されるそうなので、そちらも楽しみですね！　＜報告／立花＞

支援金をありがとうございました！

【支援金総合計】(H24.9.30現在)

¥1,714,590

※日本財団、赤い羽根共同募金、NPO法人青年協議会からの支援金を除いた金額となっております。

【支援金をいただいた方】(H24年9月)

平沼知明 様（9/1）、逸見英司 様・逸見由佳 様（9/1）、山田智子 様（9/10）、眞鍋晶子 様（9/18）近藤幸司 様（9/20）

おゆずりください!!

着物ハギレ

岩手県宮古市で被災された「あねさん」達が運営する手作り小物ショップ「あねさんショップ」では、商品製作の材料等のご支援をお願いしています。ご家庭で不要になった物がありましたら、ご協力をお願いします。募集内容は以下の物です。

●着物ハギレ生地（絹。仕立ててあるものはそのままで）
●着物帯（絹）●ミシン●小さいアイロン●布団皮の見本
●アクリル毛糸（新品・並太・明るい色）

お問い合わせ・送付先は＜あねさんショップ＞まで
住所／〒027-0025　岩手県宮古市実田1丁目7-29
電話／050-5539-9524

活動記録（H24年 9月）

日(曜日)	活動内容
15(土)～17(月祝)	●もりキャン autumn green camp 2012 ～いわて×ふくしま～　（盛岡市・盛岡市近郊）
22(土)	●草取り　（盛岡市本宮　しぇあハート村）

支援金を募集しております

被災地への支援活動に使う支援金を随時募集しております。無理のない範囲でご協力いただければと思います。振込は下記口座までお願いします。

◆ゆうちょ銀行
記号／18350　番号／6602251
名義／ゆいっこ盛岡支部　（ユイッコモリオカシブ）
※他金融機関からの振込の場合
店名／八三八　（ハチサンハチ）　店番／838
預金種目／普通預金　口座番号／0660225
名義／ゆいっこ盛岡支部　（ユイッコモリオカシブ）

◆郵便振替
番号／02200-1-110096　加入者／ゆいっこ盛岡支部

◆岩手銀行
店番／107　口座番号／2061680
預金種目／普通預金
名義／いわてゆいっこ盛岡　代表理事　藤原　慧矢
（イワテユイッコモリオカ　ダイヒョウリジ　フジワラ　ケイヤ）

「ゆいっこ盛岡新聞」は、
いわてゆいっこ盛岡ホームページより
PDFでご覧いただけます。
郵送をご希望の方は電話やメールにて
事務局にお知らせください。

助成 日本財団 The Nippon Foundation

災害ボランティア・NPO活動サポート募金

この事業は赤い羽根
「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」
の助成を受け実施しています。